

議員（松岡 忠）

6番 松岡 忠、令和2年度第2回多度津町議会の一般質問を行います。
教育委員会にお尋ねします。

コロナウイルスの影響による教育委員会の今年度の事業計画についてですが、繰り越しをしていた各小学校の改修事業はどうなりますか。再度の繰り越しはできないと思いますが。

教育課長（竹田 光芳）

松岡議員の本年度実施予定の各小学校の改修事業についてのご質問に答弁をさせていただきます。

議員ご指摘のとおり、本年度、令和元年度の繰越事業として国庫補助の採択を受け、多度津小学校校舎中棟、豊原小学校校舎、四箇小学校校舎の外壁剥離等改修工事を実施する予定でありました。今回の改修工事は校舎への立ち入りを制限する工事でもあり、児童が不在である夏休みを中心に実施する予定でありました。しかしながら、今回の新型コロナウイルス感染症予防対策により夏休みを短縮することになり、当該工事につきましては短縮した夏休み期間中で完了することは難しく、工事の内容には廊下、天井の改修も含まれるため、足場等の関係で教室への入室も困難となります。

また、外壁剥離改修工事は騒音が発生する工事もあるため、感染予防対策である教室の換気をする際に授業に支障を来すことが予想されるため、本年の工事施工を中止することと致しました。

なお、議員ご指摘のとおり、令和元年度からの繰越事業であるため、次年度への繰り越しはできませんので、国庫補助につきましては申請を取り下げ、令和3年度実施に向け、国庫補助申請を行ってまいります。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

今年度の小学校、中学校の学校行事はどうなりますか、お伺いします。

教育長（三木 信行）

松岡議員の今年度の小学校、中学校の学校行事について、ご質問に答弁をさせていただきます。

今回の新型コロナウイルス感染症予防対策により、31日間の児童・生徒の学習機会が奪われることとなりました。失われた授業時間を回復するため、昨日答弁させて頂きましたような夏休みの短縮、行事の精選及び縮小、1日の授業時間数の拡大により回復を考えております。

議員ご質問の学校行事につきましては、春に予定していた運動会については1学期中の実施は中止とし、2学期以降の実施についてもスポーツ大会等で代用するなど規模を縮小することや今後の行事等の精選なども考えておりま

す。

学校再開後の取り組みにつきましては、県教委や文科省のガイドラインを参考に安全・安心な対応を心掛けてまいります。まずは保護者や地域の理解と協力を得ること、感染防止のための新しい生活様式を子供に身につけさせること、保護者や子供に寄り添った対応をすること等が大切なことだと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

ただいま教育長からの答弁がありましたが、この分の中に子供の気持ちの一つも入っていないように思うんですが、6年生、3年生の最終学年になったら、学校最後の年になります。卒業アルバムとか色んなもんもあるんで、それが全然行事がなかったら撮れんのではないかなと思いますが、その辺を子供に意見を聞くなどそういう考えはおありでしょうか、お伺いします。

教育長（三木 信行）

松岡議員の行事について子供の意見を、考えを、声を聞くということについて答弁をさせていただきます。

昨日も再質問の時に答弁をさせていただきましたが、今後、2学期以降の行事につきまして、現段階で一律に中止であるとか縮小するという風に決めている訳ではございません。今後の感染状況や年度末を見通した教育課程の進捗状況を見ながら、当然子供の声を聞いたり、保護者の方の意見を聞きながら、各学校で考えていくように指示をしております。

ただ、もう一つの観点としては、各学校の年間の学校の運営の中で何を大切にするのかということもあろうかと思えます。例えば運動会、そのままでなくても半日でも代替としてスポーツ大会をするのか、あるいは学習発表をどのようにするのか、それは各学校によってどういう風な学校運営をするかによって、やや変わってくるところがあるだろうと思っています。

そして、ご理解を頂きたいところは、学校を今、再開したばかりでございます。大切にすべきことは、まず安全・安心な学校運営であるということと、もう一つは多くの保護者の恐らく子供もそういうこともあると思えます。6年生、特に中学校3年生としましては、公立学校としての学習の保障、機会均等ということを考えて時に、行事ということ大切にしながらも、この事態について諦めなければいけないということもあることを子供、保護者、先生たちで共有しながら、納得感を持って残すこと、そしてある程度はそこは削減をしながら、精選をしながらやっていくことも必要かという風に考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

どうも有難うございました。

教育委員会に最後の質問になります。幼稚園統合の事業の今年度の予定を教育長にお聞きします。

今まで私は統合事業を町長の方に幾度か質問させて頂きましたが、現場である教育委員会の方の声をちょっとお聞きしたいので、最初に決めなければならない既存の幼稚園の整備をするのか、または新設箇所新たに計画をするかの結論を今年度中には出せるのでしょうか。この問題が決まらなければ、この事業が少しも前に進まないなので、教育長のお考えをお伺いします。

教育長（三木 信行）

松岡議員の幼稚園統合事業についてのご質問に答弁をさせていただきます。

幼稚園の適正規模、適正配置につきましては、私自身も教育課題検討委員会の委員として会議に出席をしておりましたので、本町の幼稚園の園児数の減少や施設の老朽化からも勘案を致しますと、本町の喫緊の課題だと認識をしております。教育委員会と致しましては、速やかに再編に向けた準備に着手し、早期に開園できるように取り組んでまいりたいと考えております。

議員ご質問の整備方法の決定時期につきましては、具体的な時期を今申し上げることはできませんが、議員の皆様にも丁寧に協議、報告をしてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願い致します。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

教育長、どうも有難うございました。

1つお聞きしたいんですが、教育長も教育課題検討委員会の中に入っていて、この話も大分出たと思います。その中で何がネックになったかなというんがちょっとお聞きしたいんで、よろしくお願い致します。

教育長（三木 信行）

松岡議員の再質問について答弁をさせていただきます。

まず、教育課題検討委員会に参加をさせて頂いておりまして、何がネックになっていたのかということでございますが、それはもちろん学校、例えば小学校を幾つにするのか、幼稚園を幾つにするのかから始まって、そして場所をどこにするのかというのは、そこが大きな検討課題でありました。当然、今後の子供の推計とか、そして学校や園を残した時、残さなかった時、1園にしたり2校にしたり1校にした時に、どれだけ毎年ランニングコストがかかるのか、そういった費用の問題も大きな課題になりました。

松岡議員の方からご質問頂いた訳ですけど、返りましたら教育課題検討委員会の報告がなされたのが平成30年3月でございまして、そしてその年の7月に

教育委員会の基本方針が出されて、今2年がたっております。恐らくこの間に様々なお考えやご意見が、どんなような造り方をするのかも含めて、整備方法とか場所、費用等について議論がなされてきたんだらうと思います。そして、今に至ってるということを考えた時に、速やかにそういったことを見直しながら、町長様や関係各課と相談しながら、また議員の皆様のご意見を頂きながら、速やかに決定をしていきたいというのは考えております。

ただ、1つご理解を頂きたいのは、現在、新型コロナウイルスの感染予防対策の最中でありまして、この幼稚園の統合事業につきましても喫緊に取り組むべき課題でございますが、ここ1～2ヶ月はそれが最優先ということにはならないと思います。並行して、しっかりと取り組んでまいりたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

どうも有難うございました。

幼稚園の統合の問題に関しましては、答えが仮に出たとしても3～4年はかかる事業になります。検討の方をよろしくお願い致します。

続きまして、2番目のコロナウイルス対策について町長にお伺いします。

コロナウイルスの影響で町政にも支障を来していると思いますが、今後、今年度の町長のお考えをお伺いします。

町長（丸尾 幸雄）

松岡議員のコロナウイルスの町政への影響に対する今後の対応についてのご質問に答弁をさせていただきます。

新型コロナウイルス緊急事態宣言が発出されてから、町内でも人や物の動きが停滞をして、活動を縮小または休止しなければならない状態が生じ、町内でも大きな影響が出てきております。

多度津町でも新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、小・中学校は臨時休業となり、幼稚園・保育所につきましても自粛をお願い致しました。

また、公共施設は使用禁止の措置を行い、主催する会議やイベントにつきましても、どうしても行わなければならない場合を除き、延期、中止とすることと致しました。毎年開催しております、さくらまつりや夏まつりにつきましても今年度は中止となり、会議や総会なども書面決議等で開催しなければならない状況となっております。緊急事態宣言は解除されましたが、今後も感染拡大防止に努め、外出の自粛や会議、イベント、施設使用の制限につきましても段階的に緩和していくこととなっておりますので、町民の皆様にも引き続きご迷惑をお掛け致しますが、さらなる感染拡大を防ぐためにもご理解を賜り、ご協力頂きますようお願いを申し上げます。

国や県において様々な支援策が講じられておりますが、町と致しましても新型コロナウイルス感染症で影響を受けられました皆様に対して独自の策を行う必要があると考えておりますので、引き続き、国、県及び様々な関係機関と連携をして、あらゆる面から積極的な対策に取り組んでいきたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

町長、有難うございました。

最後の方に独自の策を行う必要があるとおっしゃられましたが、どういうことがあるかなと。町でこれはやらないかなというのを多分考えていると思いますが、どんなものがあるか、お伺いしたいと思います。

町長（丸尾 幸雄）

小さいことで言えば、75歳以上にマスクを支給致しました。また、それ以外にも今、地方創生臨時交付金を活用して議会でも承認を頂きまして、様々な事業、オンライン授業も含めて様々な事業に使わせて頂く予算の計上と、そして事業を決めさせて頂きましたので、これからそれを行っていくつもりであります。様々なことであります。

また、それに加えて今回、国の方で2次補正が出てきます。もう間もなく国会を通過すると思いますが、その時は1次補正よりも少し規模が大きくなるということを知っておりますので、今、関係各課とも様々なところでどういう風なものを作るのか、町独自のものを改めてやっていこうということで予算規模、そして事業規模、それを今、出してもらうように伝えているところであります。

答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

有難うございました。

続きまして、新型コロナウイルスの影響により、農業、漁業、非正社員、パート従業員等、かなり影響を受けている町民の方もいらっしゃると思いますが、多度津町独自の支援策はありますか、お伺いします。

産業課長（谷口 賢司）

松岡議員の新型コロナウイルスの影響により、農業、漁業、非正社員、パート従業員等、かなり影響を受けている町民の方もいらっしゃると思いますが、多度津町独自の支援策に答弁させていただきます。

まず、農業、漁業についてでございます。

農業、漁業ともにステイホームや3密防止による外食の自粛、学校給食の停止等の影響により、売り上げが減少してございます。

農業への影響につきまして、ＪＡ香川県多度津支店に確認したところ、たちまちの大きな影響は見られないものの、３月から５月にかけて出荷量の多かったミニトマトやアスパラガスなどの卸価格の下落が見られたとのことでございます。また、新聞報道によりますと、外食需要の減少で４月末の主食用米の民間在庫は昨年の同時期より１３万トン多い状況にあるとのことであり、秋の生産量が増えれば米価の下落が予測されます。

漁業への影響について町内３漁協に確認したところ、農業と同じく外食需要の減少や学校給食の停止等で海産物の消費先が減少し、魚価が大きく下落したとのことでございます。

町と致しましては、基幹産業である農業、漁業に従事されている方々の支援を図るために、ＪＡ香川県多度津支店及び町内３漁業協同組合と協議を行っているところでございます。

次に、非正社員、パート従業員の方々への支援でございますが、国の第２次補正予算案にも盛り込まれておりますとおり、雇用保険被保険者及び被保険者以外の相違はあるものの、解雇を行わない場合の企業に対する雇用調整助成金の拡充がなされ、一定の賃金の維持が図られることになってございます。

また、県独自策として、同助成金の上乗せ支給となる県雇用調整助成金及び緊急雇用維持助成金が設置されてございます。町独自の上乗せ支給等の制度はございませんが、住民の方々に広く活用頂けるような制度等を研究してまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

産業課長に再質問を致します。

先ほどの答弁の中で、ＪＡ香川県多度津支店及び町内３漁業協同組合と助成事業に係る協議を行っているところでしたが、どのような内容の事業なのか、お答えのできる範囲で教えて頂きたいと思います。よろしくお願い致します。

産業課長（谷口 賢司）

松岡議員の再質問にお答え致します。

先ほどの答弁にもございますとおり、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、農業者及び漁業者の方々の事業にも少なからず悪影響がございました。町では、農業、漁業振興を図る立場にございますので、農業及び漁業を営む上で必要な経費に係る助成などが想定されるのではないかなという風に考えてございますが、真に農業者及び漁業者が必要としているものは何なのかということをＪＡ香川県多度津支店及び町内３漁業協同組合と協議を進めている状況でございます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

ただいま再質問の答弁を頂きましたが、要望として経済産業省のホームページを検索したら、中小企業や個人事業等に対する助成制度は手厚くされていることが分かります。また、新聞報道を見ても、企業やその従業員に対する支援策や低所得者に対する支援制度に係る記事を多く見ることはできますが、本町で多くの方が従事している農業及び漁業に対する助成が手薄になっているように感じます。

先ほどの答弁にあったように、農業及び漁業は町の基幹産業の一つです。是非とも国の交付金を活用した助成事業を設置して、農業、漁業の振興を図ってもらいたいと、これは要望です。よろしくお願いします。

続きまして、最後の質問になりますが、今の状態であれば来年度の公共事業の予算要求はどのようになりますか。また、国に毎年行っている陳情等もどうなるのでしょうか、お伺いします。

総務課長（神原 宏一）

松岡議員の来年度の公共事業の予算要求についてのご質問に答弁をさせていただきます。

現時点におきましては、公共事業に係る採択申請や補助金、交付金の手続などにつきましては、国や県から変更する旨の通知はございませんので、これまでどおり進められるものと認識しているところでございます。

しかしながら、国の来年度予算編成につきましては、十分留意することが必要であると考えます。我が国経済は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により大変厳しい状況に陥り、先行きの不透明な状況にございます。国におきましては、来年度予算が見積もりがたい状況にあるため、概算要求の期限を9月末まで1ヶ月延長するなどの対応をとっています。感染症対策に係る多額の補正予算を編成した後でもあり、国における来年度予算編成過程におきまして、公共事業予算を含め、どのような予算配分がなされるのか、本町財政への影響はどの程度あるのかなどを注意深く情報を収集し、本町の来年度予算編成に反映させてまいります。

投資的経費につきましては、厳しい予算編成が予測される中、国の動向を注視しつつ、税収などの歳入把握に努め、事業の緊急性や効果などを検証し、抑制に努めてまいりたいと考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

町長公室長（山内 剛）

松岡議員の国への陳情についてのご質問に答弁をさせていただきます。

毎年7月から11月にかけて、国に対して道路や港湾、都市基盤整備などについて

て陳情、要望活動を行っております。この陳情、要望活動につきましては、主に全国市町村長会議などの会議が東京で開催された時に行っておりますので、今年度につきましてもそれらの会議が開催されれば、陳情、要望活動を行う予定として考えております。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（松岡 忠）

以上で私の一般質問を終わりますが、国の第2次の補正予算が成立して交付金が来ると思います。多分、倍ぐらいの交付金になると思いますが、その中で色々な使い道を検討して頂いて、町民みんながちょっと良くなったなというような策をして頂きたいと思います。要望です。本日はどうも有難うございました。